

トルコ共和国アンカラ大学

タルー学長が本学で講演

トルコ共和国アンカラ大学のジエマル・タルー学長による講演会が、11月11日に本郷キャンパス仁愛ホールで行われました。

演題は「トルコ共和国―日本との交流とアンカラ大学」。イラン・イラク戦争時、トルコ政府が日本人を安全に脱出させた措置や、両国で発生した大地震時の協力体制など、友好の深さについて触れました。さらに、アンカラ大学での教育や施



設について解説。その規模の広さに、聴講者は感嘆の声を上げました。

タルー学長のダイナミックな講演。左は通訳のテキメン教授

た。これらの内容の日本語通訳は、「新・文明の旅」プログラムの良いアドバイザーであるアンカラ大学のテキメン教授。学生からは「アンカラ大学で学ぶ日本人留学生の人数」などの質問があり、タルー学長は、「現在は交換留学生のみで学部生がいないため、今後の交流を通してアンカラ大学で学ぶ日本人学生が増えることを期待します」と話を結びました。